

交雑種比較試験

誌名	新潟縣蠶業試験場要報
ISSN	03888452
著者	荒井, 良治 林, 英三郎
巻/号	24号
掲載ページ	p. 54-56
発行年月	1985年12月

—資 料—
交雑種比較試験

荒井良治・林英三郎

本県における蚕品種選定の資料とするため、新しく指定された蚕品種および、本県に普及している蚕品種の性状を比較検討したので、その概要を報告する。

支 137号を対照品種として外 4 品種を供試した。
飼育は1～2 齢シルクメイト（日本農産工業株式会社）を用い、飼育標準表に従って飼育した蚕児を材料蚕として、3 齢起蚕で各品種2000頭の試験区を設定、3 齢は空調蚕室で棚飼、4～5 齢は屋内条桑育とした。

試験方法

1985年春蚕期（5月24日 掃立）、初秋蚕期（7月9日）、晩秋蚕期（8月24日 掃立）の各蚕期に春蚕期は（日145号・日01号）×（支146号・支01号）を対照品種として外 4 品種、初秋・晩秋蚕期は日 137号×

第1表 飼育・収繭・繭質調査

蚕期	品 種 名	母 体	ふ化歩合	1～3 齢 経 過			4～5 齢 経 過			
				日 数	温 度	湿 度	日 数	温 度	湿 度	
春	（日145号 × 支146号 日01号 × 支01号）	中	98	日時	℃	%	日時	℃	%	
	（朝1号 × 東1号 日1号 × 海1号）	日	97	11.22	27.8	78	14.08	22.0	75	
	（赤1号 × 清1号 城1号 × 水1号）	日	98	11.22	27.8	78	14.04	22.0	75	
	（陽光1号 × 麗華1号 太平1号 × 長安1号）	中	99	11.22	27.8	78	14.10	22.0	75	
		中	97	11.22	27.8	78	14.08	22.0	75	
	初秋	（日137号 × 支137号 誠1号 × 福1号 貫1号 × 珠1号）	日	98	10.08	28.2	85	9.21	26.6	80
（万光1号 × 大白1号 錦1号 × 絹1号 糸1号 × 粧1号）		中	98	10.08	28.2	85	9.21	26.6	80	
（錦秋1号 × 鐘和1号）		中	99	10.08	28.2	85	10.01	26.7	80	
		中	98	10.08	28.2	85	10.01	26.7	80	
晩秋		（日137号 × 支137号 誠1号 × 福1号 貫1号 × 珠1号）	日	98	11.02	28.0	83	11.20	24.8	84
		（万光1号 × 大白1号 錦1号 × 絹1号 糸1号 × 粧1号）	日	99	11.02	28.0	83	11.23	24.8	84
	（錦秋1号 × 鐘和1号）	中	99	11.02	28.0	83	12.05	24.5	85	
		中	99	11.02	28.0	83	12.05	24.5	85	
		日	99	11.02	28.0	83	12.05	24.5	85	
		日	99	11.02	28.0	83	12.05	24.5	85	

試験成績の概要

第1表に飼育, 収繭, 繭質調査を、第2表に製糸調査の成績を示したが、各蚕期別に対照品種と比較し、良好な成績を示した品種は春蚕期(朝1号・日1号)×(東1号・海1号), 初秋蚕期(誠1号・貫1号)×(福1号・珠1号), (錦1号・糸1号)×(絹1号・粧1号), 晩秋蚕期は(誠1号・貫1号)×(福1号, 珠1号)であったが、これらの品種の性状は次のとおりである。

(1) 春蚕期

(朝1号・日1号)×(東1号・海1号)
 対照品種に比べ1~3齢経過日数は差がなかったが、4~5齢経過日数は4時間短く、繭重, 繭層重, 繭層歩合まさり、収繭量が多く、繭糸長, 繭糸量, 生糸量歩合がまさった。

(2) 初秋蚕期

(誠1号・貫1号)×(福1号・珠1号)
 対照品種に比べ1~3齢経過日数は差がなかったが、4~5齢経過日数は4時間長く、繭重, 繭層重, 繭層歩合まさり、解じょ率は劣ったが、繭糸長, 繭糸量, 生糸量歩合がまさった。
 (錦1号・糸1号×絹1号・粧1号)
 対照品種に比べ1~3齢経過日数は差がなかったが、4~5齢経過日数は4時間長く、繭重, 繭層重, 繭層歩合まさり、収繭量多く、繭糸長, 繭糸量, 生糸量歩合がまさった。

3 齡 起蚕率	化 蛹 歩 合	対1万頭 上繭収量	対結繭歩合		繭 重	繭 層 重	繭層歩合
			普通繭	玉 繭			
%	%	Kg	%	%	g	cg	%
98.5	97.7	20.6	98	0.3	2.17	50.8	23.4
99.2	95.7	21.6	98	1	2.30	55.8	24.3
96.0	93.6	20.5	97	1	2.25	55.2	24.5
97.8	93.6	18.0	99	1	1.97	47.8	24.3
94.9	96.1	20.9	98	1	2.22	54.1	24.4
99.3	97.9	20.5	98	1	2.14	48.3	22.6
99.3	98.4	21.4	99	0.1	2.21	52.6	23.8
99.9	97.5	21.5	98	0.2	2.25	52.6	23.4
99.5	97.0	21.3	99	1	2.18	51.6	23.7
99.2	98.4	21.0	99	0.3	2.14	52.2	24.4
99.5	98.2	20.9	98	1	2.16	52.0	24.1
98.9	94.5	21.0	98	1	2.20	52.7	24.0
95.0	95.7	20.0	98	1	2.13	50.8	23.8
96.9	97.6	20.1	99	0.2	2.07	47.7	23.0
96.2	94.7	19.4	98	1	2.08	50.6	24.3

(3) 晩秋蚕期

(誠1号・貫1号) × (福1号・珠1号)
 対照品種に比べ1~3齢経過日数は差がなかったが、
 4~5齢経過日数は3時間長く、繭重、繭層重、繭層
 歩合、解じょ率、生糸量歩合は差がなかったが、繭糸
 長がまさっていた。

第2表 製糸調査

蚕期	品 種 名	繭糸長	繭糸量	繭糸織度	解じょ率	生糸量歩合	小 節
		m	cg	d	%	%	点
春	(日145号 × 支146号 日01号 × 支01号)	1,316	43.7	3.04	86	19.78	95.00
	(朝1号 × 東1号 日1号 × 海1号)	1,384	47.6	3.15	87	20.60	95.00
	(赤1号 × 清1号 城1号 × 水1号)	1,340	47.7	3.25	88	20.83	95.00
	陽光1号 × 麗華1号	1,345	41.9	2.84	83	20.58	95.00
	太平1号 × 長安1号	1,371	45.4	3.03	88	20.62	95.00
	初秋	日137号 × 支137号	1,420	41.9	2.68	78	19.38
(誠1号 × 福1号 貫1号 × 珠1号)		1,569	45.4	2.64	73	20.38	95.00
万光1号 × 大白1号		1,550	44.8	2.64	73	19.48	95.00
(錦1号 × 絹1号 糸1号 × 粧1号)		1,584	45.3	2.61	77	20.39	94.50
錦秋1号 × 鐘和1号		1,527	44.1	2.64	79	20.34	94.50
晩秋	日137号 × 支137号	1,321	45.5	3.14	91	20.82	94.50
	(誠1号 × 福1号 貫1号 × 珠1号)	1,430	45.4	2.90	90	20.84	94.50
	万光1号 × 大白1号	1,418	44.1	2.84	84	20.62	95.00
	(錦1号 × 絹1号 糸1号 × 粧1号)	1,422	42.8	2.75	85	19.83	95.00
	錦秋1号 × 鐘和1号	1,424	44.0	2.81	89	20.67	95.00